



**東バイパスはなぜ必要?**

東バイパスは、既に整備されている都市計画道路大館駅東大館線と並び大館市の重要な環状線であり、市街地への通過車両の流入による交通渋滞の解消が期待されます。平成10年に大館西道路と南バイパスの供用が開始されました。それにより、通過車両による市街地の交通渋滞は大幅に緩和されましたが、以前から抜本的な解消に向けた施策が市民の皆さんから要望されていました。



東バイパスのルート

東バイパス(南バイパス)山王岱

現在、有浦地内の長木川で橋りょう工事が行われています。これは市道有浦東台線にともなうもので、来年3月までには、橋脚と橋台それぞれ1基が完成、さらに

**長木川架橋工事始まる**

整備済みの2路線は、現在南バイパスから市街地に通じる幹線道路として利用されています。



東バイパス整備済部分

ランプ(樹海ライン、全体延長3、550m)は市街地を通過せずに市の東部と南部を連結するよう計画されています。すでに整備・供用されている市道狐台長根山線(南バイパス)山王岱ランプ(小柄沢墓園)・市道東台3号線(小柄沢墓園)・東台6丁目(と現在整備が進められている市道有浦東台線(東台6丁目)・樹海ライン)の3路線で構成されています。

橋脚1基の追加工事を見込んでいます。

**東バイパスの完成はいつ?**

平成13年度から事業がスタートし、平成19年秋田国体を目標に整備を進めます。

**東バイパス完成後のメリット**

環状道路が整備されます  
都市計画道路大館駅東大館線とともに、環状道路が整備されることとなります。

下町橋の交通量の緩和  
幅員が狭く、交通危険場所となっている下町橋の交通量の緩和が期待されます。

**着実に整備を進めます**

計画から50年を経て、昨年開通にこぎつけた都市計画道路大館駅東大館線のように、都市計画道路の完成には長い年月が必要です。

市では、将来のまちの姿や交通量の増加などを想定して都市計画を行い、着実に道路整備を行っています。

お問い合わせは、

都市計画課

(☎49) 3111 内線312

土木課

(☎49) 3111 内線304